

支持療法に使用する薬剤

支持療法とは、化学療法治療による副作用・合併症・後遺症等の発症を予防したり、治療をすることです。

処方状況に「○」が付いている薬剤は、あなたに処方されている薬剤です。

処方状況	医薬品名	用法・用量 等	写真
	レボフロキサシン錠500mg	1日1回 1回1錠 3日分 37.5度以上の発熱時に開始	
使用方法と注意事項			
化学療法治療後、1～2週間後が最も白血球や好中球が下がるため、免疫力が落ちて感染症にかかりやすくなります。 治療後1週間以降に37.5度以上の発熱や鼻水、咳、のどの痛みなど風邪症状が見られた時に服用を開始してください。 飲み始めたら、翌日症状がよくなっても、3日間は飲み切ってください。 1週間より前の発熱は、治療後の影響とは考えにくいので、ロキソプロフェンを服用して様子をみてください。 レボフロキサシンを飲むか、ロキソプロフェンを飲むか、判断に迷うときは病院にご連絡ください。先生が指示をいたします。 便秘薬の酸化マグネシウムを服用した場合は、レボフロキサシンの効果が弱まるため、先にレボフロキサシンを服用し、 2時間空けてから酸化マグネシウムを服用してください。			

処方状況	医薬品名	用法・用量 等	写真
	オランザピンOD錠2.5mg	1日1回 1回2錠 4日分 症状がなくても飲み切る	
使用方法と注意事項			
吐き気止めのお薬です。化学療法の治療をした日から、服用を開始して吐き気の症状がなくても4日間必ず飲み切ってください。 眠気が強くでお薬ですので、服用後のふらつき転倒に注意してください。			

処方状況	医薬品名	用法・用量 等	写真
	デカドロン錠4mg	症状がなくても飲み切る	
使用方法と注意事項			
吐き気止めのお薬です。吐き気の症状がなくても、必ず飲み切ってください。 【ドセタキセル治療に使用する場合】 吐き気やアレルギー症状、むくみなどを抑えるお薬です。症状がなくても必ず飲み切ってください。			

処方状況	医薬品名	用法・用量 等	写真
	ロペミンカプセル1mg	別紙のイラストを見ながら使い方を確認する	
使用方法と注意事項			
強い下痢止めのお薬です。別紙のイラストを見ながら使い方を確認してください。 5～7の便で、形のない状態になった時に服用を開始してください。5の軟便状態でこのお薬を1個服用してください。 2時間たっても効果がみられない時に追加でもう1個服用してください。1日8個までしか服用できません。 6の泥状便と7の水様便の時には、このお薬を2個服用してください。 2時間たっても効果がみられない時に追加でもう2個服用してください。1日8個までしか服用できません。 下痢がおさまったら服用を中止してください。服用を継続した場合、便秘になる可能性があります。			

処方状況	医薬品名	用法・用量 等	写真
	アズノールうがい液	1日数回	
使用方法と注意事項			
1日数回、コップ1杯に数滴たらしてうがいをしてください。 感染症予防と口内炎予防のために、口の中を清潔に保ってください。			

処方状況	医薬品名	用法・用量 等	写真
	ロキソプロフェンNa錠60mg レバミピド錠100mg	1日3回 毎食後 発熱や痛みが出現した時	
使用方法と注意事項			
解熱鎮痛剤と胃の粘膜を保護するお薬です。発熱時や痛みがある時に服用を開始してください。 関節痛や筋肉痛、肩痛、腰痛時に服用しても構いません。 【ジールスタ皮下注・ペグフィルグラスチムBS皮下注をご使用された場合】 注射をして数日後から、腰や背中、肩が痛くなる場合があります。その際に服用されても構いません。 数回服用することで、症状が緩和されます。（4～5時間の間隔をあけてください）			

処方状況	医薬品名	用法・用量 等	写真
	プリンペラン錠5mg	1日3回 毎食前 7日分 嘔気症状が出現した時	
使用方法と注意事項			
吐き気止めのお薬です。毎日服用する必要はありません。むかむかの症状が出現した時に服用を開始してください。 食前用法で処方されていますが、食事中や食後でも服用して構いません。 外出する際、症状がなくても予防的に服用しても構いません。			

処方状況	医薬品名	用法・用量 等	写真
	エピナスチン錠20mg	1日1回 夕食後 7日分 かゆみや湿疹症状が出現した時	
使用方法と注意事項			
痒みや湿疹をおさえるお薬です。症状が出現した時に服用を開始してください。 花粉症等のアレルギー症状の際も服用して構いません。ただし、市販薬や他の抗アレルギー剤と併用しないようしてください。			

処方状況	医薬品名	用法・用量 等	写真
	レスタミンコーワ錠5mg	治療前に5錠服用 化学療法によるアレルギー症状の予防	
使用方法と注意事項			
パクリタキセル治療の前に服用していただくお薬です。痒みや蕁麻疹などのアレルギー症状を抑えるために服用します。 眠気が強く現れるので、ふらつき転倒等に注意してください。			

処方状況	医薬品名	用法・用量 等	写真
	酸化マグネシウム錠330mg	1日3回 1回1～2錠 毎食後 7日分	
使用方法と注意事項			
便を柔らかくして便秘症状を改善するお薬です。2～3日排便がない時に服用を開始してください。 多めの水（コップ1杯程度）の服用が効果的です。服用を継続して軟便になった場合は、自己調節をしてください。 抗菌薬のレボフロキサシンを服用し始めた場合は、酸化マグネシウムと併用した場合、レボフロキサシンの効果が弱まります。 先にレボフロキサシンを服用し、2時間空けてから酸化マグネシウムを服用してください。			

